



四條畷市議会議員

ながはた

長畑ひろのり News



発行：2010.02.01

- 市政報告 02月号 -

vol.032

ご意見は次のeメールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp
http://nagahata.jp

phone：072-878-3205
fax：072-877-1194

こんにちは、市政報告です

今号は、私の目ざす地域コミュニティの基本となる協働の考え方についてを中心に報告させていただきます。

「協働のまちづくり」について

《四條畷市みんなでつくる協働のまちづくり指針》が、平成21年8月に作成され、今年1月には概要版の『みんなでつくる わたしたちのまち～協働で四條畷が変わる!!～』も完成し、市民の皆さんへ市広報誌と一緒に配布されました。

今まで、協働という言葉が一人歩きしていましたが、この指針ができた事で、四條畷市の協働に対する考え方と進めるにあたってのルールがまとまりました。

協働のまちづくりの考え方につきましては、前号の長畑ひろのりNewsにも書きましたが、私が早急に実現したい地域コミュニティのベースとなるものです。

右のイラストで言えば、中央4番目の「新しい地域自治を目指した取り組みを進めます。」に当たります。

概要版を手にしたしたら、

協働とは、一致できる目標に向かって、市民（※1）や行政が役割と責任を自覚しながら、持てる力を出しあって、課題を解決したり、新しい社会をつくり出していく事。

※1市民とは…市民、ボランティア、NPO法人、市民公益活動団体、各種公益法人、地縁組織、事業者・企業、学校などを含みます。

是非お読みください。今後は、市民と行政が対等な関係で信頼を深めながら協働事業に取り組めるよう、私も頑張ります。

※ 協働指針の目的や市民参画、協働についての理解を深めて頂くとともに、協働で取り組む四條畷のまちづくりについて、市民の皆さんと一緒に考えるフォーラム&パネル展が下記内容にて開催されます。ふるってご参加下さい。

2月21日（日） 四條畷市市民総合センター

【フォーラム】 午後1時20分～午後4時（市民ホール）

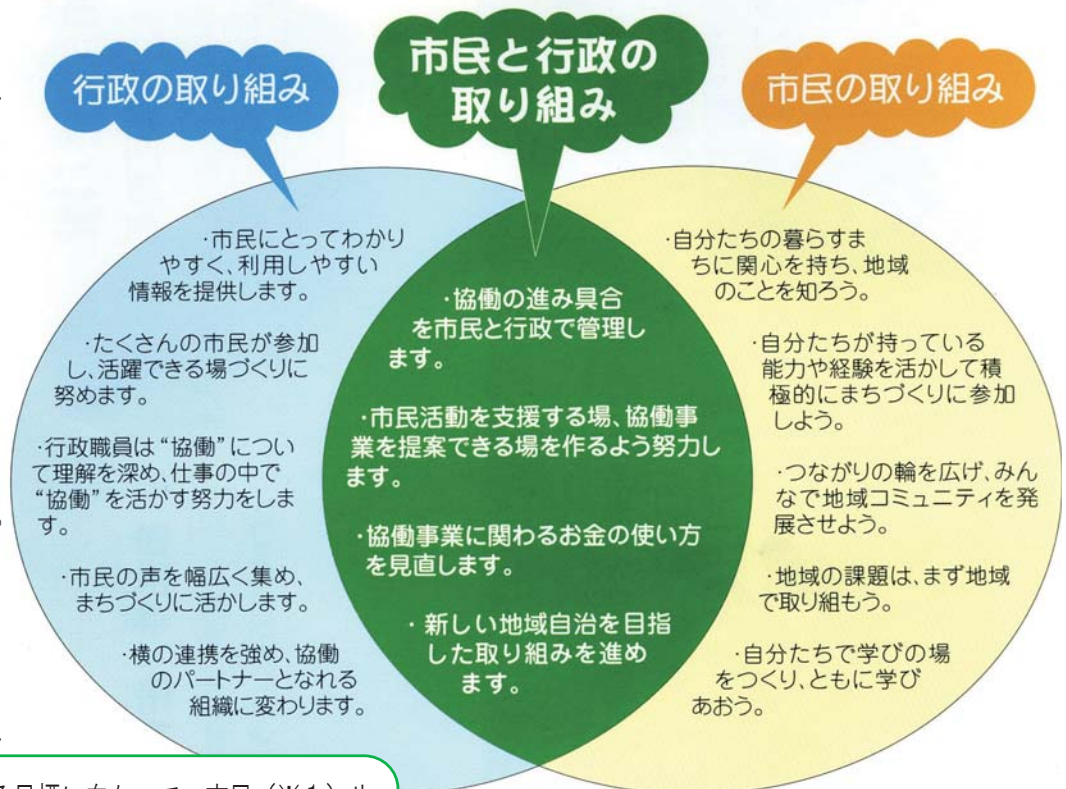
基調講演 中川幾郎氏（帝塚山大学大学院 教授）

テーマ「みんなでつくる かわたのまち」

【パネル展】 午前10時～午後4時（展示ホール）

市内で活動するボランティア・NPO・市民活動団体の活動情報や取り組みを紹介するパネル展

「協働のまちづくり」を進めるために



↑ 取り組みの一例です（概要版より）

たとえば、少子高齢化によって、福祉サービスが必要となったり、子育てを応援するしくみが求められています。また、災害時に助けあったり、美しい自然環境を守るような社会の課題が増えてきています。こうした課題を行政だけにまかせるのではなく、市民（※1）が、協力・連携して取り組む方がよりよい成果をえることができます。

「予算執行留保の解除」について

昨夏に政権交代がおこり、四條畷市でも予算執行留保など予算内容の是非を抜きに、確実に影響を受けていました。

その件で、平成22年1月15日、内閣府地域活性化推進担当室より通知があり、地域活性化・経済危機対策臨時交付金及び地域活性化・公共投資臨時交付金について予算の執行停止が行われないことの確認できました。よって1月16日付けで、小・中学校の太陽光発電設置工事及び同工事实施設計に係る予算の執行留保が解除されました。

太陽光発電設置工事以外につきましては、平成21年12月1日に予算執行留保の解除は終わっております。

以下、2回に渡り執行留保を解除された主な事業のうち、金額の高いものの状況を示します。(単位：円)

事業名	予算額	充当する国費	市債	一般財源
校舎増改築事業・太陽光発電設置工事实施設計				
小学校	12,460,000	12,460,000	0	0
中学校	7,741,000	7,741,000	0	0
校舎増改築事業・太陽光発電設備設置工事				
小学校	140,000,000	70,000,000	70,000,000	0
中学校	80,000,000	40,000,000	40,000,000	0
防災体制事業	37,770,000	13,858,000		23,912,000
一般道路改良事業	35,200,000	35,200,000	0	0
庁舎管理事業	19,757,000	19,757,000	0	0
ごみ減量化対策事業	11,245,000	11,245,000	0	0
公用車管理事業	10,122,000	10,122,000	0	0
グリーンホール田原管理運営事業	9,000,000	9,000,000	0	0
観光事業	7,000,000	7,000,000	0	0

以上が、平成21年度国の第1次補正予算を受けて実施される高額な事業の一例ですが、これら全て我々国民の税金であり喜んでばかりいられません。私は、国費を使い、市債を発行してまで全小中学校へ太陽光発電をつける価値や費用対効果については、今も疑問を感じています。

以下は、停止から12月補正予算で中止となった事業です。

子育て応援特別手当支給事業	72,190,000	72,190,000	0	0
事業所ごみ減量化対策事業	5,144,000	5,144,000	0	0

「昭和47年ダイヤ改正」について

少し昔の話を広報四條畷20号より(昭和47年2月10日発行・人口総数43,151人)伝えさせていただきます。

日本国中を蒸気機関車が走っていた頃、JR片町線(学研都市線)にも、もちろん蒸気機関車が走っていました。それが昭和47年3月15日のダイヤ改正で姿を消す事になり、同年2月10日の広報一面には、蒸気機関車のお別れ式の写真と記事が掲載されました。

内容を一部紹介すると「1月23日夕、C-11型蒸気機関車が四條畷駅に回送されてくると、楠公子供会と川崎子供会の代表が花束を贈呈した。同駅の話では、片町線の蒸気機関車は全て姿を消しディーゼル機関車かわりをつとめるとの事。」私は当時畷小の4年生でしたが忍ヶ丘駅のすぐそばに住んでいたので蒸気機関車が走っていたのを今も覚えています。



蒸気機関車のお別れ式
昭和47年2月10日発行の「広報四條畷」に掲載された写真。蒸気機関車が四條畷駅に回送されている様子。

また、同年3月10日の広報にはダイヤ改正により、片町線の輸送力増強の記事が掲載されています。今の時刻表と比べれば、とても輸送力増強とは思えない内容です。しかし、同じ号の広報に「国鉄は、片町線四條畷～長尾間の複線化を決め、運輸大臣に工事の申請を出していましたが、去る二月十四日に許可がおりました。工事は早ければ今春三月には着工し、昭和四十九年十月には完成の予定です。…」との記事が載っています。

単線であるがために、45分間隔から30分間隔になっただけで輸送力増強と言えた時代、懐かしい思い出です。

昭和47年3月10日(6)

広報 四條畷

▲四條畷駅電車標準発車時刻表(47・3・15から)

4					
5			45		
6		△12	29	43	
7	×0		16	51	
8		□14		45	
9			□21	○51	
10			18	46	
11			13	30	
12		□11			
13	5			46	
14			27		
15	7			□48	
16		12		□50	
17			20	56	
18			28	45	58
19			15		
20	3			44	
21			25		
22		9			59
23					
0					

備考 (1)=1番線発 (3)=3番線発
○=平日は2番線発、休日は1番線発
△=休日は長尾で接続なし ×=休日運休

3月15日からダイヤ改正 片町線の輸送力増強

国鉄片町線は、四條畷～長尾間において、沿線開発にともない来る三月十五日からは、通勤時、昼間時の輸送力が増強され四十五分間隔から三十分間隔に短縮改善されます。

また四條畷～片町間においても同日から、休日ダイヤの実施により、現行の十五分間隔を十分間隔に短縮させ、休日のお買物やレジャーなどには皆様の便宜をはかるため、改善され、別記時刻表のとおり運行されます。